

講義日程・時間

8月17日 水曜日

1 限目

1. 授業科目名	からだの不思議		
2. 担当教員名	芋川 浩		
3. 授業の概要	近年の医学・生物学は目覚ましい発展を遂げており、医療分野も細分化され、専門以外はわからないような状態になりつつある。さらに、そのような発展により、非常に多くのことがわかったかのように錯覚してしまう。しかし、我々ヒトを含めた生命にはまだまだ分からない事ばかりであり、未だ「生命の小宇宙」というくらいに不思議なことばかりである。そこで、本講義では、その生命の不思議や、ヒトを含めた生物に共通する素晴らしい現象について親しみ、理解してもらいたい。		
4. 到達目標	ヒトの体や生命の神秘・不思議を再確認し、それを子供たちに伝え、共有できるようにすること		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	からだ作りの不思議	スライドを用いた講義
6. テキスト・参考文献等	特になし		
7. 成績、評価方法・基準	授業への参加意欲と、授業最後に行うテストによって評価する		
8. 特記事項	今年度は昨年度と大幅に内容を変えることも考えており、当初の内容と異なることがありうる。その場合は「(個体としての)生命誕生の神秘」の予定。		

講義日程・時間

8月 17 日 水 曜日

2 限目

1. 授業科目名	産む・産める“からだ”づくり[思春期編]		
2. 担当教員名	古田祐子		
3. 授業の概要	<p>わが国において不妊は増加の一途をたどり、現在、夫婦7組に1組が不妊と言われ、誰もが産める時代ではなくなってきた。そのため、本授業では不妊の現状を理解し、子どもを産めるからだをつくる必要性と女性のからだの神秘を月経を通して共に考えていく。思春期は性成熟するまでの期間であり、まさに産む性を育む時期である。月経という女性のからだの生理的営みが何を意味し、どのようなメッセージを発しているのかについて学ぶ。また、月経の不快症状を軽減するための体操について演習を通して習得する。</p>		
4. 到達目標	産む性としての女性のからだを生理的機能である月経を通して学ぶとともに、マンスリービクスの実験を体験する。		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	<p>不妊の現状から見た産む・産める“からだ”</p> <p>月経はからだの健康バロメーター</p> <p>思春期のマンスリービクス(月経体操)</p>	講義・演習
6. テキスト・参考文献等	配布資料		
7. 成績、評価方法・基準	テスト評価		
8. 特記事項	運動できる服装で受講すること		

講義日程・時間

8月 17 日 水 曜日

3 限目

1. 授業科目名	子ども達の健康課題解決と 地域との協働活動		
2. 担当教員名	尾形由起子		
3. 授業の概要	地域における健康課題の抽出とその解決のための看護活動の概要について伝える。その中でも、子育てに関する課題について取り上げ、課題解決のための看護の実際についてと、関係者と協働のあり方についてディスカッションする。		
4. 到達目標	地域における健康課題解決のための看護活動の概要を伝える。その中でも、子どもにまつわる問題について取り上げ、課題解決のための看護の実際を理解する。		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域における健康課題 2. 地域看護活動の概要 3. 地域看護活動の実際 4. 学校と地域の協働活動のあり方 	<p style="text-align: center;">講義 意見交換</p>
6. テキスト・参考文献等	なし		
7. 成績、評価方法・基準	テスト		
8. 特記事項	特になし		

講義日程・時間

8月 17日 水曜日

4 限目

1. 授業科目名	学校看護婦の歴史から学ぶ子どもへの支援と今の養護教諭の側面的課題		
2. 担当教員名	石川フカエ		
3. 授業の概要	前半は、歴史に学ぶ「子どもへの支援」の観点から、日本初の公費負担学校看護婦「廣瀬ます」に焦点をあて、廣瀬が示した子どもへの愛情と養護活動を文献や取材を通して得られた史実を中心に講義を進めていく。その中で「廣瀬ます」が学校教育に与えた影響を考察していく。後半は今の養護教諭・保健室が子どもたちにはどのように捉えられているのかを、大学生へのアンケート調査から明らかにしていき、今後の養護教諭の活動に繋げる提言を行う。		
4. 到達目標	養護教諭の歴史「廣瀬ます」の養護活動を理解し、今後における自己の子どもへの支援のあり方を考察することができる。		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	歴史に学ぶ「子どもへの支援」の観点から、日本初の公費負担学校看護婦「廣瀬ます」に焦点をあて、廣瀬が示した子どもへの愛情と養護活動を文献や取材を通して得られた史実を中心に講義を進めていく	テキストを中心にスライドにて講義を行う。
テキスト・参考文献等	第52回日本学校保健学会(於仙台・平成17年10月29日)教育講演資料より ・「日本の養護教諭の歩み」 ・学校保健百年史 ・京町小学校百年史 ・帝國学校衛生会誌		
7. 成績、評価方法・基準	講義終了時にテストを行い基準に沿って評価する		
8. 特記事項	養護教諭以外の教員も子どもの理解に役立ち子どもの観点が見えてきます		